環境仕様

VEZEL



「2030年度燃費基準達成車」
FF車



「2030年度燃費基準85%達成車」
e:HEV車(4WD)



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車
e:HEV車



「平成30年排出ガス基準50%低減レベル」認定車
ガソリン車

基礎情報	車両型式				6AA-RV5			6AA-RV6		5BA-RV4
	原動機	型式			LEC-H5					L15Z
		総排気量(L)			1.496					
	駆動装置	駆動方式			FF			4WD		
		変速機			—					CVT
環境性能情報	燃料消費率*1	WLTCモード	燃費（km/L）*2		26.0	25.3	25.2	21.5	21.3	21.2	15.0
			市街地モード（WLTC-L）		28.2	27.7	27.6	20.8	20.6	20.5	11.5
			郊外モード（WLTC-M）		26.2	25.4	25.1	23.0	22.7	22.5	15.8
			高速道路モード（WLTC-H）		24.9	24.4	24.3	20.9	20.7	20.6	16.7
			CO_2排出量(g/km)〈燃費からの換算値〉		89.3	91.8	92.1	108.0	109.0	109.5	154.8
		参考			2030年度燃費基準達成車			2030年度燃費基準85%達成車			—
	排出ガス	適合規制・認定レベル			平成30年排出ガス基準75%低減						平成30年排出ガス基準50%低減
		試験モード			WLTCモード						
		認定基準値(単位：g/km)	CO		1.15						
			NMHC		0.025						0.05
			NO_X		0.013						0.025
			PM		—						
		参考			九都県市指定低公害車の基準に適合（平成30年基準）						—
	適合騒音規制レベル				平成28年騒音規制 規制値：加速走行68dB（A）						
	エアコン冷媒	種類/GWP値*3			HFO-1234yf/1*4						
		使用量			420g						370g
	車室内VOC				自工会目標達成（厚生労働省室内濃度指針値以下）						
	環境負荷物質削減	鉛*5			自工会2006年目標達成（1996年使用量*6の1/10）						
		水銀*7			自工会目標達成（2005年1月以降使用禁止*8）						
		六価クロム			自工会目標達成（2008年1月以降使用禁止）						
		カドミウム			自工会目標達成（2007年1月以降使用禁止）						
		自工会目標適用除外部品			＊5：鉛バッテリー（リサイクル回収ルートが確立されているため除外） ＊7：ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯（交通安全上必須な部品の極微量使用を除外）						
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示			100g以上の樹脂部品全て						
		リサイクルし易い材料*9を使用した部品			アンダーコート、インナーウェザーストリップ、ウインドウモール、ウォッシャーチューブ、エンジンハーネス、オープニングトリム、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、ドアモール、バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、ルーフモールなどの内外装部品						
		再生材を使用している部品			吸音材、シェード・シェードBAG（e:HEV Z・PLaYパッケージのみ）						
		リサイクル可能率			車全体で95%以上*10						
	環境負荷物質使用状況等	鉛			使用部品：塩ビ・ゴム部品、電子基盤、電気部品のはんだ、圧電素子等（PZTセンサー）						
		水銀			全廃済み						
		六価クロム			全廃済み						
		カドミウム			全廃済み						
	その他	グリーン購入法適合状況			グリーン購入法適合車						—

＊1　燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

＊2　WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

＊3　GWP：Global Warming Potential（地球温暖化係数）

＊4　フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下（対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値）にすることを求められております。

＊6　1996年乗用車の業界平均使用量は1850g（バッテリーを除く）。

＊8　交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。

＊9　ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。

＊10「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン（1998年 自工会）」に基づき算出。

※　この環境仕様書は2026年10月現在のものです。